

ウクライナ戦争。毎日情報更新。第248日-250日

英語版はソフィア・オリニクさんとマリヤナ・ザヴィシカさんによって作成されました。

月曜日の朝のミサイル攻撃。ロシアが数十発の巡航ミサイルを発射している間、ウクライナの通常の月曜日の朝は空襲警報音で始まります。今日の午前中、午後7時から午後9時の間に55発のミサイルがウクライナに発射され、そのうち44発が防空システムによって破壊されました。都市の一部が電気と水道の供給を受けていないキエフでは、爆発音が聞こえました。重要インフラの損傷により、緊急の省エネ停電が全国で導入されます。

食糧安全保障 10月29日、ロシア連邦は、ウクライナの港からの農産物の輸出に関する穀物協定の実施への参加を一時[停止](#)しました。この決定は、ウクライナが黒海艦隊の船舶に対して実施したとされる攻撃と関連付けたものです。

10月30日、トルコ国防省は、穀物協定へのロシアの参加の停止に関連して、ウクライナの港からの食料を積んだ船の出国はまだ行われないと[発表](#)しました。一方、ウクライナのインフラ省は、10月30日現在、ウクライナ側が共同調整センターから安全な回廊を通過して検査を行う許可を得ていないため、218隻の船舶が実際に封鎖されていると[報告](#)しました。

同日、ポーランドはEUのパートナーとともに、ウクライナと必需品の輸送を必要としている人々を支援するためにさらに努力する用意があると[述べ](#)ました。穀物協定への参加を一時停止するというロシアの決定を受けて、10月30日、NATOはモスクワに対し、世界的な食糧危機の中でウクライナが黒海経由の穀物輸出を再開できるようにする国連仲介の協定を緊急に更新するよう[求め](#)ました。また、欧州連合もロシアに対し、決定を撤回するよう求めました。さらに、アントニオ・グテーレス国連事務総長は、黒海穀物イニシアチブの更新と完全な実施、およびロシア連邦と署名した協定の完全な実施に対する揺るぎないコミットメントと強力な支持を[表明](#)しました。

ウクライナ側もロシアの協定への参加停止に反応しました。ウクライナ外務大臣のドミトロ・クレバは、ロシアが穀物回廊から220キロ離れた場所での爆発という偽りの口実で、穀物取引への参加をかなり前もって中断することを計画していると[発表](#)しました。また、彼は、ロシアがすでに海上にある176隻の船で200万トンの穀物をブロックしていることに言及しました。これは700万人以上を養うのに十分な量です。ウクライナのウォロディミル・ゼレンスキー大統領は、この完全に意図的な封鎖は、大規模な飢饉の脅威をアフリカとアジアに戻すというロシアの意図であると[述べ](#)ました。

国連の[報告](#)によると、ウクライナ、トルコ、および国連の代表団は、12隻の出国船と4隻の入港船の16隻の海上人道回廊の10月31日の移動計画に合意しました。ロシア連邦の代表団は、動きについて知らされました。

攻撃下の都市 ドネツィク州。10月28日、ロシア軍は最前線の入植地への砲撃を[続け](#)ました。ロシア軍は、アウディーイウカの古い中心部を[砲撃](#)しました。また、ペルボマイスクの集落は攻撃を受け、家屋2軒が被害を受けました。攻撃の結果、この州では2人が[死亡](#)し、8人が負傷しました。10月29日の夜、ロシア軍はドリシキフカの集落でミサイル攻撃を[開始](#)しました。ミサイルは学校と民家を攻撃しました。砲撃の結果、トラックで家屋2軒、負傷者2名、バフムットで民家4軒と行政庁舎、ライマンで民家2軒が被害を受けました。日中、砲撃により5人が[死亡](#)しました。ミコライウ州。10月28日、ロシア軍はハリチカ・コミュニティの入植地を[攻撃](#)しました。砲撃の結果、4人が負傷し、送電線が損傷しました。境界線上に位置するベズネウアチカ・コミュニティの砲撃は続きました。シロキウスカ・コミュニティへの攻撃の結果、2つの民家が破壊されました。翌日の10月29日、ミシュコヴォーポホリフスカ・コミュニティが[攻撃](#)されました。その結果、農業企業が被害を受けました。また、ロシア軍はシロキウスカ・コミュニティを砲撃し、高層ビル1軒と民家2軒が被害を受けました。ハルキウ州。10月28日、ロシア軍はヴォフチャンスク市を[攻撃](#)し、家屋が被害を受けました。また、ロシア軍はドヴォリチナ集落の民家を攻撃しました。砲撃の結果、クピャンスク地区で3人が負傷しました。10月29日、ロシア軍はクピャンスク市を[砲撃](#)しました。砲撃の結果、民間の産業施設が損傷し、大規模な火災が発生しました。また、クピャンスク地区で1人が負傷しました。ドニプロペトロウシク州。10月28日の夜、ロシア軍はニコポリ地区を[攻撃](#)しました。ニコポリでは数十棟の高層ビルや民家が被害を受けました。チェルノフリホリフスカ・コミュニティでは、カントリーハウスと送電線が被害を受けました。10月29日、ロシア軍はニコポリへの砲撃を[続け](#)ました。その結果、市内で1人が負傷し、8棟の高層ビルや個人の建物、家具工場、ホテル、バス停、ガスパイプライン、送電線が被害を受けました。また、砲撃により、ガソリンスタンドとガレージ協同組合で火災が発生しました。10月30日、ニコポリ市が再び[攻撃](#)を受けました。その結果、10棟の高層住宅や民家、住宅、ガスパイプラインが被害を受けました。また、家庭ごみの処理のために企業で火災が発生しました。

占領下の都市 ヘルソン州。この州の一時占領地域の占領当局は、地元の民間人が生活するための耐えられる条件を[作ろうとしており](#)、いわゆる「避難」を強制しています。ノヴァ・カホウカでは、10月29日以降、ロシアの占領当局がインターネットへのアクセスを無効にしました。代わりに、拡声器を通じて48時間以内に民間人がヘルソン州を去る必要があるという情報を広め、ウクライナ軍によるミサイル攻撃の脅威とされる脅威として説明しました。地元の病院の医療関係者と市の運営サービスは、いわゆる「避難」の優先事項の対象となります。さらに、占領当局は、起業家にすべての食品を売り払い、店や市場を閉鎖することを義務付ける法令を発行しました。ヘルソンでは、市の共有財産にあった車両が一時的に占領されたクリミアに[移されました](#)。市内のほとんどの薬局から医薬品の撤去、病院から医療機器の撤去に関する情報が確認されています。

人権。10月29日、別の捕虜交換が行われました。その結果、52人のウクライナ人捕虜が帰国しました。そのうち50人は[過激派](#)で2人は民間人です。ウクライナのゼレンスキー大統領は、3月以降、1031人がロシアの捕虜から解放されたと発表しました。

極右過激派で構成され、その残虐行為で知られるロシアの破壊工作攻撃諜報グループ「[Rusich](#)」は、再びウクライナの子供たちの殺害を呼びかけました。特に、「科学実験」を通じて、「まず第一に、ウクライナの白人以外の人口(10歳以上の女性と5歳以上の男性)を物理的に根絶しなければならない(その一部は科学的実験を通じて)」と占領者は宣言しました。

外交政策。[米国と同盟国](#)は、10月27日の国連安保理会議で、米国がウクライナで「軍事生物プログラム」を行っているというロシアの非難を再び提起して、理事会の時間を無駄にし、陰謀を広めたとして、ロシアを激しく非難した、とロイターは報じました。また、[米国とウク](#)

[ライナ](#)に対するロシアの根拠のない非難に対して、国連は、ウクライナにはまだ生物兵器の兆候は見られないと述べました。

エネルギー安全保障。ロシア連邦安全保障理事会のドミトリー・メドベージェフ副議長は、電気を得るためにウクライナに降伏するよう提案した。このように彼は、ウクライナのエネルギーインフラに対するロシアの攻撃がウクライナの降伏を狙っていることを認めた。

[ウクライナ](#)のエネルギー インフラストラクチャに影響を与えたロシアの攻撃の後、ウクライナの大統領、ヴォロディミル ゼレンスキーは、10月28日の夜に400万人のウクライナ人が停電の影響を受けたと発表しました。停電スケジュールは緊急ではなく計画になります。

ウクライナのエネルギー危機に対処するため、ドイツはウクライナに、ドネツク、キエフ、ルハンスク、チェルニーヒウ、チェルカースィ地域の国家緊急サービスのユニットに、さまざまな容量の発電機14台を提供しました。 また、[リトアニア](#)は、損傷したインフラストラクチャを修復するために、ほぼ100,000ユーロ相当の機器をウクライナに送りました。

戦争犯罪の訴追。[ロシア](#)によるウクライナへの本格的な侵攻の開始時に、キーウに向かう途中のロシア軍の恐怖は、個々の兵士、将校、または部隊のランダムな残虐行為ではありませんでした。 AP通信とPBSチャンネルで放送されている「最前線」番組の調査によると、抵抗を不可能にすることは「戦略的残虐行為」でした。

制裁。10月28日、[ノルウェー](#)はプーチン大統領とロシア政権に対する新たな一連の制裁を導入しました。

ジャスティン・トルドー首相は、ロシアに対する制裁のリストを拡大して、6社と35人のロシア市民を含めることを発表しました。 制裁対象企業のほとんどは、エネルギー輸出に関連しています。

[欧州連合司法委員会のレインダース氏](#)は、ウクライナ侵攻に対するブロックのロシアに対する制裁により、170億ユーロ以上に相当するロシア市民の資産が凍結されたと推定した、とMNSは報告しました。

[英国](#)は、2023年1月1日から、[ロシア](#)からの液化天然ガスの同国への輸入をすべて停止すると発表しました。

破壊。ハリキウ地域の占領中に、ロシアの占領者は世界最大の電波望遠鏡を損傷しました。研究天文台の建物は完全に破壊されており、おそらく復元することはできません。

再建。ウクライナの[マルチェンコ財務大臣](#)は、ウクライナの戦後復興には年間約380億ドルの予算が必要であると述べました。

メディア 9カ国 (アルメニア、デンマーク、エストニア、フィンランド、ジョージア、アイルランド、モルドバ、ノルウェー、スウェーデン) は、ウクライナを支持してロシアが同盟から除外されていないため、欧州独立報道評議会同盟から[脱退](#)します。

ロシアの本格的なウクライナ侵攻が始まって以来、ヨーロッパの30か国がロシアのプロパガンダチャンネルであるロシア・トゥデイとスプートニクを[ブロック](#)しました。全国テレビ・ラジオ放送評議会のオルハ・ゲラシムク議長は、バルト諸国とポーランドがロシアのプロパガンダに反対することに最も積極的であることを強調しました。

受賞 10月28日、ウクライナのジャーナリストであり、クリミア・タタールのテレビチャンネルATRのニュース番組の司会者であるハリロヴ・グリスムは、グローバル・ジャーナリスト評議会のコンテストの「ジャーナリストオブザイヤー」に[ノミネート](#)されました。トルコのアランヤ市で開催された授賞式で、ハリロヴ・グリスムは、前日にロシアのインターポールの要請でクロアチアから到着した後、イスタンブール空港で拘束されたと報告しました。ジャーナリストは直ちに釈放され、トルコへの入国が許可されました。

ヴォロディミル・ゼレンスキー大統領は、自由と民主主義の促進または維持に貢献した勇気ある行動に対して授与される米国のOxi Courage Awardを[受賞](#)しました。

総計情報

- ウクライナ軍参謀本部は2022年10月31日午前10時現在のロシア軍の推定総損失を発表しました: 人員約 71,820人、戦車 2686台、装甲戦闘車両 (APV) 5,485台、砲兵システム 1728台、多連装ロケットシステム (MLRS) 383台、対空戦システム 197台、固定翼航空機 275台、ヘリコプター 253台、軽装甲車 4,128台、ボートおよび軽装ボート 16台、運用戦術レベルUAV 1413台、特殊装備 154台、移動式短距離弾道ミサイルシステム 353台。

すべてのアクションが重要であり、あなたの貢献が小さすぎることはありません！

- [ボランティア翻訳者](#)としてSharetheTruthsプロジェクトを支援してください。
- [Twitter](#)と[Web](#)サイトで毎日アップデートを読んでください。

ウクライナをご支援いただきありがとうございます！ Slava Ukrainiウクライナに栄光あれ！